

広報

のた

平成16年(2004)年

10月号
No.378



主な内容

- ・北リアスソフトバレー……………2
- ・生涯学習コーナー……………4
- ・むらのわだい……………6
- ・むらの文芸……………8
- ・おしらせ……………10

ホームページ

<http://www.vill.noda.iwate.jp>

Eメール

soumu@vill.noda.iwate.jp

鈴なりキウイをまらないね

16日(土)、野田っ子らは日形井地区の「実のなる森」でキウイを収穫しました。今年は好天が続いたため鈴なりの大豊作。両手に抱えきれないほどの収穫量に、うれしい悲鳴をあげていました。

ソフトな球をハードにアタック 北リアス・ソフトバレーフェス

三日（日）、村体育館と久工体育館で、恒例となった北リアスソフトバレーフェスタが開かれ、県内外から参加した86チームはスポーツの秋を存分に堪能しました。



ぶ厚いブロックを撃破

北三陸、秋の風物詩ともいえるスポーツの祭典は第8回を迎え、年齢制限のないヤングの部、四十歳以上のシルバークラス、五十歳以上のゴールドクラスの三部門に分かれ、計八十六チーム約六百人が参加しました。

開会式の会場となった村体育館の周辺には、朝早くから集まった選手がランニングしたり、ストレッチで体をほぐすなど、開会前にもかかわらず熱気に満ちあふれていました。

村バレーボール協会が主催したこの大会は、女性二人以上が常時

3部門に約600人が参加 熱気あふれるプレー続出

出場することを条件としており、レクリエーションの要素は強いものの、上位に勝ち進むためには、攻守のバランスがとれたチームワークと、ミスのない試合運びが重要なポイントです。

試合開始の笛とともに、熱い戦いの火ぶたが切って落とされ、鋭く突き刺さる鋭角なスパイクや、正確なレシーブなど、観衆の拍手を誘う好プレーが続出しました。

村に集った腕自慢の選手らは、さわやかな汗を流しながら、他のチームとの交流を存分に堪能していました。



うなる豪快サーブ

競技の魅力引き出した 誇れる村協会の運営力

ソフトバレーは一チーム四人一組が、大きく柔らかいボールを使いバドミントンと同じ広さのコートで、高さ2メートルのネットを挟みボールを打ち合います。ボールが扱いやすく、つき指の心配なども無いため、年齢を問わず誰でも簡単に楽しめるのが特徴です。

村内で選手たちが快くプレーできる大きな舞台を提供し、盛り上げた村バレーボール協会員は頼もしく、大会への情熱と、力強い団結力を痛感させるものでした。

県境を越え、世代を超えて、次回もたくさんチームがここを訪れ、いつまでも色あせない思い出となる名勝負を繰り広げることでしょう。

各部門ごとの上位に入賞したチームは次のとおりです。

ヤングの部(年齢制限なし)

- ◎優勝－久慈排友会【もと】(久慈市)
- 準優勝－もんぶくん(山形村)
- △第3位－美－2派(東和町)、X-king(矢巾町)

シルバークラス(40歳以上)

- ◎優勝－野田SVCS(野田村)
- 準優勝－成田スピリッツ(北上市)
- △第3位－しもくん(山形村)

ゴールドクラス(50歳以上)

- ◎優勝－そけいマリーンズ2004(宮古市)
- 準優勝－もんちゃんず(宮古市)
- △第3位－大館きりたんぼ(秋田県)

テニポンで友好ラリー 北海道様似町と交流



卓越した熟練の技が光ります

友好町村の北海道様似町のテニポン協会(加藤鉄二会長)の一行が村を訪れ、親睦を深めました。一行は9日(土)、テニポン競技の交流会を開き、村テニス協会(狩野祐司会長)員らと楽しく交流しました。



さらに絆が深まりました

村体育館で開かれた、テニポンの交流会には、テニポン協会の会員十人と、村テニス協会員ら二十五人が参加しました。

初挑戦に近い状態で臨んだ村テニス協会員らも、簡単なルールと扱いやすい道具に「これは楽しい」と太鼓判を押しました。

「テニポン」は、テニスとピンポン(卓球)を合わせた同町で生まれたスポーツです。

初心者でも簡単に打ち合える軽いスポンジ製のボールと、約四十五センチと扱いやすい短めのラケットを使い、バドミントンコートでプレーします。ルールは卓球とほぼ

テニポン用具 貸し出します!

希望者にテニポンの用具を貸し出しいたします。

お子様からお年寄りまで、気軽に楽しくプレーできます。

詳しくは村教育委員会事務局 78-2936、または役場総務課 78-2111へお問い合わせください

同じで、シングルス、ダブルスどちらでも楽しむことができます。

この競技は同町が「生涯スポーツの町」を宣言したのをきっかけに、一九八八年に町民によって考案されたものです。

ルールが簡単でスポーツ技術がいらないこと、雪で閉ざされる冬季に室内でも楽しめることなど、多くの課題をクリアして誕生しました。

仲間の輪を広げ、地域の連帯を強めるといったコミュニケーションスポーツとしての役割も担うなど、愛好者が多く、同町はもちろん全道大会が開かれるほどの人気スポーツに成長しています。

テニポン協会から、競技の普及と継続した交流を願い、村に対し用具3セット(十二人分)を寄贈していただきました。

大事に積極的に使いましょーう!

世代を超え楽しく交流

グラウンドゴルフ大会

九月十二日（日）第三回世代間交流グラウンドゴルフ大会が山村広場で開かれました。

清々しい秋晴れのもと、各地区から小・中学生、青壮年、高齢者の各世代でチーム編成した12チーム、九十六人がプレーを楽しみました。

この競技は1チーム六人編成で16ホールを回り、合計打数の少ないチームを上位とするルールです。一打のミスが勝敗を左右する真剣勝負でしたが、子どもも大人もお互いに声援を送りながら一緒に周り、楽しく交流を深めることがで

きました。

団体の部で泉沢・中平の三連覇をはばみ、見事試合を制したのは新山Bチームでした。

前回から設けられた個人の部では、泉沢・中平Bチームの宇部東四郎さん（七）が優勝し、宇部さんを含む五人がホールインワンを出しました。

最年少で参加した畑村鮎さん（野田小三年）は、「最初は難しかったけど、教えてもらいながらやったらできるようになった。来年もまたやりたい」と笑顔で話していました。

【試合結果】

団体の部 (敬称略)

優勝	準優勝	第3位
新山B	泉沢・中平A	泉沢・中平B

個人の部

優勝	準優勝	第3位
宇部東四郎 (中平)	久保三之助 (下泉沢)	田中キヌ子 (前田小路)

若い子に注目されると緊張するなあ



野田ヘルスポーイズは2年ぶり2度目の優勝

ヘルスポーイズ優勝

教育長杯少年野球

第二十三回教育長杯争奪少年野球大会が、九月十一日（土）新山運動広場で、村内のスポーツ少年団3チームが参加して開かれました。一昨年、八連覇という大記録を逃がしたものの、前回優勝した野田ファイターズは初戦、野田スポーツと対戦し、完封勝利を成し遂げました。

続く第2戦で宿敵、野田ヘルスポーイズに6回コールドで敗れ、連覇はなりませんでした。

優勝したのは、ここ二、三年でめきめきと力をつけた野田ヘルスポーイズで、三十日（土）から開かれる久慈地区スポ少交流大会の出場権を手に入れました。

絵本大好き！もって読んで

全国訪問 おはなし隊

九月十三日（月）、児童図書三五〇冊を積み全国を巡る、「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が村を訪れました。

村内の保育所児童ら六十人が参加し、村図書館ボランティアグループあつぷぷ（小田みゆき会長）のメンバーとおはなし隊長が、大型紙芝居や絵本の読み聞かせをしました。子どもたちは、声をあげて驚いたり、「うんうん」とうなずきながら物語の世界を楽しんでいました。

その後、子どもたちはキャラバンカーから大好きな絵本を選び、本とのふれあいの時間を過ごしました。



キャラバンカーは大盛況です

24人の受講者大奮闘

最高齢は81才「パソコン講習会」



若い人にはまだまだ負けません

9月15日（水）、16日（木）の2日間、総合センター研修室で『パソコン講習会』が開かれ、昼・夜コース合わせて24人が受講しました。

今回は、パソコンで文書を作成するソフトの「ワード」を基本から応用まで学びました。初めて使うという人でも、最後には手本の案内文書を完成させて自信をつけていました。

最高齢の81歳で参加した広内三太郎さん（下泉沢）は、「ワードは初めてだったが、文章を打てるようになって嬉しい。練習していきたい」と意欲を燃やしていました。

芸術の秋を堪能しよう

第40回野田村総合文化祭

村文化祭は、40周年の節目の年を迎え、村総合文化祭と名称を改めました。今年から新たに『産業まつり』も開催されます。例年以上に趣向を凝らした作品や公演、出店などをぜひお楽しみください。たくさんのご来場をお待ちしています。

《公演部門》

【日時】10月31日（日）

開場 8：20 開演 9：00～12：00

【場所】村体育館

《展示部門・産業まつり》

【日時】11月6日（土）10：00～16：00

7日（日）9：00～16：00

【場所】村体育館、総合センター、いわてくじ農協
野田支店集出荷場

アジャワールド

Angie World Angie World Angie World

書道でリラックス



私の書道、どうですか？

9月28日（火）に、村体育館で行われたシルバースポーツ大会の盆踊りに参加しました。思っていたよりも難しくて、うまく踊れませんでした。ぜひ、また挑戦したいです。

今、私は書道を習っています。日々の生活で目にする漢字を少しでも読めるようにするため、子どもが文字を習うように一から頑張っています。書道は集中力がいるので、書き終わると心が落ち着きます。書道学習会の久慈よしの先生から指導を受け、字のバランスや筆の運びなど、技術を得るためには、練習の積み重ねが必要だと思いました。教室の生徒たちは非常に才能があり、いつも私を励ましてくれます。ありがとうございます！

野田の人々はとても優しく、皆さんと触れ合うことが私の楽しみの1つでもあります。盆踊りも書道も、皆さんと一緒に楽しんでいきたいです。これからたくさんの冒険ができますように…。

九月二十四日（金）、野田小学校（菊池誠校長）で、ホウレンソウの給食会が開かれました。これは、久慈地域の特産であるホウレンソウについて、児童にもっと知ってもらおうと久慈地方振興局などが主催したものです。村内で生産している堀合信章さん（南浜）は、ホウレンソウの栽培方法などについて話し、学校給食を児童と一緒に楽しみました。久慈地域では、夏季の冷涼な氣候を生かし質の高いホウレンソウを栽培しており、三年連続で販売額十億円を達成しています。食材を作ってくれた人の顔を見ながら食事ができるなんて、ちよつと贅沢すぎるかな？

安心でおいしいね

地元産ホウレンソウの給食



栄養もたっぷりおいしいね

心が癒されますね！

村花いっぱいコンクール

むらづくり運動推進協議会（前田公司会長）が主催した、花いっぱいコンクール審査会が、九月二十七日（月）に開かれました。

審査員らは応募のあった団体、個人合わせて十三カ所の花壇を回り、丁寧に手入れされた花々に見とれながら審査していました。

どれも甲乙付けがたく点差はわずかでしたが、次のとおり入賞者が決定しました。（敬称略）

【団体】

◎最優秀賞 下明内上班

○優良賞 野田中学校

□努力賞 港生活改善グループ

【個人】

◎最優秀賞 小野寺キチ

○優良賞 小野寺美智子

□努力賞 大沢千恵子



心こもった手入れに花も満足

秋晴れの下さやかに

村内の保育所で運動会

高い空が広がる秋晴れの下、村内の各保育所で運動会が盛大に開かれました。

我が子の走りっぷりを応援しようとかメラを抱えた家族らは、園庭を囲み大きな声援を送りました。園児たちはこれにこたえるように、この日のために練習した種目やダンスをのびのびと披露しました。

村内保育所の運動会は、九月十六日の新山保育所を皮切りに、野田、日向、玉川、米田の計5カ所で開かれました。

「よくがんばったね！」園児たちは暖かい声援に包まれ、幸せな思い出の1ページを残しました。



大きすぎんでねえがあ？（日向）



負けるなワッショイ！（米田）



11月6日～12日は 「年金週間」です

毎年、11月6日から12日までは「11月6日」にちなんで年金週間としています。

これは、国民一人ひとりに年金を身近で大切なものと認識し、公的年金制度の基本理念である「世代と世代の支え合い」についての理解を一層深めてもらうことを目的としています。

この年金週間に合わせて県内5カ所の社会保険事務所と盛岡年金相談センターでは、年金の相談について受け付け時間を延長して対応します。お気軽にご相談ください。

年金相談の受け付け時間

11月6日(土)、7日(日) 9:30～16:00
8日(月)～12日(日) 8:30～19:00

《問い合わせ先》

☆盛岡年金相談センター ☎019-626-4165
☆岩手社会保険事務局二戸事務所 ☎0195-23-4111
☆役場住民生活課国保年金班 ☎78-2928

国民年金保険料は便利な口座振替で！

村体育館で、第6回目となるシ
ルバースポーツ大会が九月二十八
日(火)に開かれました。



チームワーク生かし紅組が優勝

元気にハッスル×2 村シルバースポーツ大会

同交流会に参加したのは、村老人クラブ連合会(小野寺敬次郎会長)の会員ら約二百人で、紅、白、黄に別れ、11種目の競技で交流し親睦を深めました。

会員らがいつも慣れ親しんでるゲートボール競技を取り入れた「ゲートボールリレー」や、野田村保育所の園児と協力し合う「輪なげりレー」など多彩で楽しい種目を元気に楽しんでいました。

締めはお約束の「盆踊り」で、打ち鳴らされる太鼓にあわせて、軽快に運ぶ足は若者そのもの。

若さの秘訣は、楽しく体を動かすことが一番かもしれないね。

北見市の美術品収集家佐藤有美江さん所蔵の作品を紹介する「佐藤有美江コレクション展」(町教委主催)が八月二十八日(土)～九月四日(土)まで町中央公民館文化ホールで開かれました。

佐藤さんは、北見市で電気工事会社を経営する傍ら、長年にわたり絵画を中心に約三百点を収集しています。

昨年まで六年間にわたり札幌市の美術品収集家坂野守さんのコレクション展を開催していましたが、二年前に逝去された佐藤さんに依頼して今回初めて実現しました。展示されている百二十点は上野山清貢、田辺三重松、居串佳一ら道内ゆかりの画家を

佐藤有美江コレクション展 第28回道民芸術祭の『絵画展』

こかぜ
アポイの樹風呼ぶまち



友好町村だより

北海道様似町⑥4



中央が佐藤有美江さん

中心に作品が並べられ、片岡球子、三岸節子、棟方志功、東山魁夷、景川弘道らの著名な版画作品もあり、訪れた人を楽しませていました。

二十九日(日)には、佐藤有美江さんを迎え、町内の原田恭宏さん(美術のハラダ)による作品解説会が行われ、一点ずつ作家の経歴や作品の内容などについて説明されました。参加者は「作品の見方が変わりますね」、「とても良かったです」と満足していました。

同ホールで第二十八回道民芸術祭「絵画展」も開催され、日高管内八町から絵の愛好者が出品した七十八点の油絵、水彩画、パステル画、色紙絵などが展示され、盛りあがった展示会となりました。

村教育委員に道上さん

道上文明さん（米田）が、村教育委員に任命されました。任期は平成20年9月30日まで。

同委員は住民の教育に対する民意を適切に反映させるように教育行政の方針を定めます。



現委員は次のとおり。（敬称略）

- 委員長 小田實美（本町）
- 職務代理 大沢伸子（門前小路）
- 委員 福士徹（北区）
- " 道上文明（米田）

村固定資産評価審査委員に中野さん

中野富雄さん（北区）が、村固定資産審査委員に選任されました。任期は平成19年3月31日まで。

同委員は、固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服の審査を行います。

現委員は次のとおり。（敬称略）

- 委員 山口育生（南浜）
- " 小野寺誠一（下明内）
- " 中野富雄（北区）



農業の担い手に支援 農機整備に半額補助

野田村水田農業推進協議会では、転作に伴う地域ぐるみの農業を意欲的に展開する担い手を支援するため、年度内における農機などの整備に対し補助します。

米作付け用の機械は対象となりませんので、ご注意ください。

【補助の対象】

●水田農業集落ビジョンで担い手として選ばれた三世帯以上が組織した団体

●麦や大豆2ha、またはハウレンソウ・ソバなど集落で決めた振興作物を1ha以上作付け（予定含む）している団体

【対象となる機械など】

●汎用コンバイン、乾燥機など

●上記機械を格納する倉庫

【補助率】導入経費の1/2以内

【申請期限】平成十六年十一月五日（金）

【申請・問い合わせ先】JAいわてくじ野田支店営農生活課 ☎7813178、役場農林商工課 ☎7812926

むらの文芸

（十月投稿作品）

「テーマ「神無月」」

恋に似し胸ぬちたぎつ指折りて

待ちし子らとの学習は今日

岩岡 野雲

祭りにて孫すくい来し金魚五尾

見あくべきなき喜寿の童心

〃

雨上がり川土手ゆきつ草むらに

白き野あざみ咲くをみつけれ

藤村 夢路

彼岸入り秋雨降りて彼岸花

季節まちなしなんつぎつ咲きそむ

〃

次々とバトン継がれて競り来るを

我が出番と身を屈め待つ

古山 静香

夏ごろも仕舞わぬうちの神無月

鰯雲標ここより塩の道

小野 満
佐藤 勲

鰯雲焦げんばかりの入日かな

〃

大部屋もそれなりの良さ父見舞う

小林セツ子

川 柳

俳 句

短 歌

季節の味覚と歌謡ショー

とれたて「秋の収穫祭」

季節の料理に舌鼓を打ちながら秋の夜長を過ごしてみませんか。マリンローズの湯もお楽しみいただけます。

【日時】11月6日（土）18：30～

【場所】国民宿舎えぼし荘

【料金】4,000円（税込み）

お食事＋ドリンク＋お楽しみ抽選券

※会場までの送迎バスをご利用ください。

17：50 中村家具店前

18：10 野田駅

18：15 役場前



お部屋の愛称を大募集!!

採用作品には記念品を贈呈

えぼし荘の会議室、広間の愛称を募集しています。

村の地名や樹木名など、誰にでも親しまれる作品を募集します。

採用された作品の応募者には、記念品を差し上げます。

◇愛称を募集する部屋

① 1階広間—80畳

② 2階会議室（大ホール）—250人収容

◇応募方法 はがきに①会議室名②広間名・住所・氏名を明記のうえ、申し込み先へ郵送ください。

◇募集期限 平成16年11月15日（月）必着

【申し込み・問い合わせ先】

国民宿舎えぼし荘 〒028-8202 野田村大字玉川2-62 ☎78-2225

旧軍人、軍副属者へ書状贈呈

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、次の人に内閣総理大臣の書状などを贈呈しています。

◇旧軍人、軍属で恩給などを受けていない人（恩給欠格者）

◇終戦に伴い海外から引き上げてきた人

【問い合わせ先】役場住民生活課 ☎78-2928

夜間のけがや事故に対応
県がこども救急相談電話

県では、こどもの病気、事故への応急処置などについて、看護師が電話で助言する相談事業を行っています。

【電話番号】#8000（携帯、ダイヤル式電話からは不可）、または019-605-9000

【相談時間】19：00～23：00

大沢さんが30万円を寄附
村社会福祉協議会へ善意

大沢吉太郎さん（旭町）が、村社会福祉協議会（澤口栄一会長）に対し、香典から30万円を寄附しました。

この寄附金は、同協議会の福祉基金に積み立てられ、地域福祉や在宅福祉事業のために使われます。

心のこもった善意に心から感謝いたします。ありがとうございました。

駐在所 だより

バイクの盗難防止を

バイクの盗難が多発しています。次の点に注意し、盗難に合わないよう心がけましょう。

- ・カギを付けたまま放置しない
- ・道路から見える場所に駐輪しない
- ・施錠できる車庫に保管する

【問い合わせ先】

久慈警察署野田駐在所 ☎78-2161



落ちないよ〜に(米田保育所)



キウイも豊作!



今年はお米が豊作だ!!

10月は「土地月間」

土地を活かして創る明るい未来

次の土地取引は届出が必要です

1. 市街化区域……2,000㎡以上
2. 市街化区域を除く都市計画区域……5,000㎡以上
3. 都市計画区域外……10,000㎡以上

職場でのトラブル相談

解雇、労働条件の改悪、セクシャルハラスメントなど、事業主と労働者との職場でのトラブルなどについて、無料で相談を受け付けます。

【問い合わせ先】岩手労働局総務部企画室 ☎019-604-3002

10月は労働保険適用月間

事業主は労働者を一人でも雇用している場合は、労働保険(労災・雇用保険)に加入し、保険料を納めなければなりません。

加入していない事業主は速やかに手続きをしましょう。

【問い合わせ先】二戸労働基準監督署 ☎0195-23-4131、久慈公共職業安定所 ☎53-3374

秋の全国火災予防運動

秋は空気が乾燥し、火事が起こりやすい季節です。火の取り扱いには十分に注意しましょう。

【運動期間】11月9日～15日

【村内での主な行事】

月 日	対象地区
11月9日(火) 13:30～	自動車防火パレード
11月14日(日) 9:00～ 11:00～	一般家庭の予防査察 初期消火訓練 (明内地区)

【統一標語】

「火は消した? いつも心に聞いてみて」

【問い合わせ先】久慈消防署野田分署 ☎78-2165

学校へ行こう週間・久慈工祭

開かれた学校づくりを進めるため、学校施設や授業内容を公開します。期間中には久慈工祭(30・31日)も開催します。

【公開期間】10月25日(月)～31日(日) 10:00～16:00

【問い合わせ先】県立久慈工業高校 ☎78-2123

職業能力開発コース

月 日	対象地区
11月10日・11日	表計算ソフトExcel(基礎)
17日・18日	"(応用)
12月1日・2日	ホームページ作成

時間は9時から16時。1カ月前から2週間前までに電話などで受け付けします。

【問い合わせ先】岩手県立久慈職業能力開発センター ☎53-6261

戦没者の特別給付金

戦没者の妻や父母などに、改めて特別給付金が支給されます。

対象となる人は次の給付金の受給者です。

◇戦没者の妻

- ・第10回「ぬ号」180万円
- ・第17回「ろ号」200万円

◇戦没者の父母

- ・第14回「る号」90万円
- ・第16回「と号」100万円
- ・第19回「ろ号」"

【請求期限】平成19年10月1日

【問い合わせ先】役場住民生活課 ☎78-2928

様似町の特産品が当たる!

かんたん3択
広報クイズ



こんぶのうまみたっぷり
産直ばあぶるで発売中!

次の問題の正しい答えをはがきに書いてお送りください。

友好町村である様似町からテニポン協会の会員らが村を訪れ交流しました。同町オリジナル競技「テニポン」の由来は次のうちどれ?

1. 「テニス」と「ピンポン」
2. 「手」にポンッ
3. ティッ、日本!(苦しい)

【応募方法】

はがきにクイズの答えと住所・地区名、氏名、年齢を明記してお送りください。正解者の中から抽選で3名に「様似町特産こんぶ醤油 1,000ml」をプレゼントします。応募は一人1通。当選者発表とイラスト、声の欄の氏名掲載はなるべく本名とします。

【締め切り】

平成16年11月2日(火)(当日消印有効)
広報や村に対する質問、身近な話題などお寄せください。いろんな情報、ちょっと一言、情報交換も大歓迎!

〔家族入浴券当選者〕

正解は1「ジャビットくん」でした。当選した皆さんおめでとうございます! たくさんのご応募ありがとうございます。

- ・畑 村 莉 帆さん (中 平)
- ・打 座 和 音さん (北 区)
- ・谷 地 瑛太朗くん (上 泉 沢)

「風疹」を予防しましょう



中村佳津美
保健師

「風疹」は、風疹ウイルスによつて起る病気です。軽い風邪のような、発熱・発疹などが主な症状ですが、熱も発疹も約三日で治るので、別名「三日はしか」とも呼ばれています。

主に子どもがかかり、症状も軽くすんでしまふ病気ですが、大人がかかると重症になることがあります。

特に妊娠さんの場合、妊娠初期にかかると、赤ちゃんが「先天性風疹症候群」という病気を発症することがあります。

この病気は、先天性心疾患、白内障、難聴を特徴とするもので、風しん予防接種の重要な目的のひとつが、この先天性風しん症候群を予防することにあります。

風疹の流行と妊娠さんへの感染を防ぐため、風疹にかかっていない場合や、予防接種を受けていない人は積極的に予防接種を受け、風疹への免疫をつけることが大切です。

次のような場合は特に注意が必要です。

- ・ 妊婦の夫や子ども、その家族
- ・ 十代後半から四十代の女性（妊娠希望者や妊娠する可能性の高い人）
- ・ 出産後早期の女性（妊娠中は予防接種ができません）

七歳半以下の幼児は、予防接種法で接種の対象となつています。なるべく一才から一才半のうちに済ませましょう。

万が一、妊娠中に風疹にかかったとしても、全ての赤ちゃんに先天性風疹症候群が発症するわけではありませんので、不必要に恐がらず、医療機関の指示に従いましょう。

風疹の流行は「春」の二月から五月といわれています。

これからの季節も、インフルエンザを初めとする、さまざまな感染症が流行します。

予防接種だけに頼らず、普段の生活でうがいや手洗いを心がけ、栄養と休養を十分に取り元気に過ごしましょう。

戸籍の窓口

9月受け付け分（敬称略）

☆お誕生おめでとう

山形 一真（英範・美穂子）米 田
小野寺 乃愛（清貴・珠貴）横 町
前川 滉輔（浩一・真智子）下 泉 沢

♥いつまでもお幸せに

（松 川 泰 之 下 泉 沢
久 慈 小百合 久 慈 市

■ごめい福を祈ります

崎 廣 モ ト（87歳）広 内
金 子 菊次郎（78歳）玉 川
南 川 亀一郎（78歳）玉 川
新 山 千 エ（96歳）中 新 山
青 木 美佐子（66歳）和 野 平

掲載を遠慮される方は、届け出のときに戸籍係に話してください。

届け出の期間は、出生届が生まれた日を含めて14日以内、死亡届は7日以内です。

人のうごき <9月末現在>

男	2,595人（-2）
女	2,676人（-4）
計	5,271人（-6）
世帯数	1,647戸（-4）

- 村内の交通事故 人身事故2件
物損事故2件
- 救急車出動件数 9件
（うち村外0件）
- 飲酒運転検挙者数 0人
（平成15年10月からの累計4人）

ご存知ですか警察安全相談

日常生活の安全に関して困っていること不安ごとなど、お気軽にご相談ください。架空請求、オレオレ詐欺など、被害が発生しています。十分にご注意ください。

◇久慈警察署生活安全課 ☎53-0110

◇県警察本部県民課（短縮）#9110

私も「デニボン」を体験してみました。はじめは木製ラケットの感覚に戸惑いましたが、ラリーを重ねるごとに「誰でも簡単にできる楽しさ」という競技の魅力が伝わってきました。村体育館で用具を借りてプレーすることが出来ます。ご家族で、仲間同士でぜひご賞味ください！病みつきになるかも？（貳又）



No. 11

村長室だより

十月十五日 中川正勝

新米が美味しい。銘柄は分からないが、炊きたて後においても粘りも輝きもあり、店頭で販売されている値段の高い米と比べても遜色がないような気がする。

これは、ここ野田産の米の話である。旨い米飯にはおかずいらずというが、確かにご飯が進む。今年の夏の太陽光と気温の高さによつて、良質米になったといつても過言ではないだろう。

以前にも書いたが、稲という植物は南方に自生し、人間の手によつて北上したものであるが、いくらか改良されても元来もっている遺伝子は失われていないという証しを今年の作柄に見る思いがする。

新米が食卓にあがっているのは裏腹に、はせに掛かった天日干しの稲、刈り取られない稲が散見される。

季節が秋の入口にさしかかった

とたんに、台風の襲来、秋雨前線の停滞による長雨であるから、脱穀も稲刈りもできない状況にあつたということであろう。現代農業にあつては、刈り取りが脱穀であり、すぐ人工乾燥へと進むことから、新米の流通も早いのである。

豊作によつて米価が下がることは必定であるが、冷害に泣かされた昨年を思えば、豊年万作であることはなによりである。

しかし、台風の多さ、秋雨前線の長期停滞は、農作等のみならず、いろいろな被害を及ぼしながら去つていったところである。民家の裏山の土砂の流出や床下浸水といった災害は、人命や日常生活を脅かすことであり、早急に行政対応が求められることになる。一年の期間は長いようで短い、行政課題は次々と発生してやまないものである。

